

Shokuhin News - July 2004 -

神戸大学 農学部 生物機能化学科 食品・栄養化学研究室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 電話 078-803-6553 Fax 078-803-5879

e-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

山下貴稔 (D3) 横浜へ！

博士後期過程3年の山下貴稔君(株)J-オイルミルズ勤務)が転勤のための横浜に引っ越しました。先月、無事に研究経過発表会を終了したものの、博士論文申請にはこれからが本番。奥様の山下(佐伯)由利子さん(98年度卒)とは不仲説は全くないものの、奥様は関西残留を宣告。危うし博士論文!? 危うし夫婦関係!? とりあえず、がんばってください。

榊原啓之博士辞任

食品・栄養化学研究室の名物博士榊原先生(01年度博)が6月18日をもって技術補佐員を一身上の都合により辞任。その真相は農学部の制度改革的なものによるが、あらためて「特別研究員」として採用が決まった。

塩谷文章博士の仕事が テレビ放送

国立がんセンター研究所の塩谷文章先生(01年度博)の研究の一部が6月28日のクローズアップ現代(NHK教育テレビ)で放送された。内容はモンシロチョウの蛹の体液に含まれるピエリシンという物質の抗がん作用で、がんの特効薬として紹介された。塩谷先生、本当ですか? コメントお待ちしております。

錦秘書、入籍間近!?

食品・栄養化学研究室のアイドルであり、母でもある美人秘書錦宏美さんの入籍が間もなくであるとささやかれている。あくまでも噂だが、最近、家具を買いあさっているとの情報もあり、限りなくクロに近いのでは...

榊原博士のヨーロッパ紀行

榊原先生が学会参加および研究の打ち合わせのため、約3週間ヨーロッパを旅しました。その報告です。

『4泊5日の刑務所生活を経て』

先月の話、スイスはルツェルンという街で行われたEGF2004という学会で発表する機会を得た。「え? そんな学会聞いたこと無いぞ! ?」との声が至る所から聞こえてきそうだが、それもそのはず、この学会、英語名称を「The Federation of European Grassland」といい、直訳すると「欧州草地連盟」になる。私にとってまったくの異分野だったこの学会、すべてが良き思い出となった。何が一番印象に残ったかというと... 第20回の記念大会故に盛大に行われたからか? 4夜連続でパーティーが開かれたからか? その内一回がファーストクラスで行く豪華ディナークルーズだったからか? 光栄にも若手研究員賞を受賞したからか? 学会参加唯一のアジア人だった故にチャホヤされたからか? ノン、ノン、ノ

ン!! それは学会事務局が手配したホテルの件である。通常、大きな学会が開かれると、希望者に対して事務局がホテルの手配をしてくれる場合が多い(と思う)。そんな学会に参加するために各国からやって来る研究者達は20歳を下らない大人達。またパソコン持参で、学会期間中も自室でメールのやり取りをしようとする研究者も多々いるだろう。あるいは旅先で出会った方と○×△...などと良からぬ所業を企てる輩もいるかも知れぬ。そんな夢一杯の私達に学会事務局が手配したホテルはというと...

元・刑務所!! を改装したホテル。一応、部屋にランクはあるのだが、一般部屋が元・独房、ジュニア・スイートルームが元・看守部屋、スイートルームが元・所長部屋だったりする。もちろん、私達の部屋は元・

独房。便所はというと、もともとあった奴に後付けの壁で見えないようにしただけの代物。廊下から独房を覗く穴と飯を供給する為の窓まであったりする(まあ、使えないようにはなっているが)。電話回線やLAN ケーブル等の洒落たものは期待すべきではないが、室内にコンセントがないってのは如何なものか。窓はというと、手を伸ばしても届かないところにある直径30cm程度の物が唯一。おまけに鉄格子まで装着済みである。もちろん室内灯はお約束の裸電球。エアコン? 無い無い無い、そんな贅沢物!! この設備で、近隣ホテルと同等の料金を取るのだから驚きも一入というもの。

そんな部屋にほろ酔い気分で帰到着き、窓から窺もれ入る月明かりの中で眠りに就こうとすると、自ずと人生の機微に思いも馳せるってものである。そんな訳もあって、思い出多き学会発表になった次第である。

乱文長文失礼。榊原啓之(01年度博)

Homepage

ようやく、農学部ホームページから<http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin> にリンクできるようになりました。

論文・学会報告

学会発表)

● Hiroyuki Sakakibara, D. Viala, M. Doreau, E. Villeneuve, D. Thomas, J.M. Besle. Biotransformation of clover isoflavones during ensilingg. 20th General Meeting European Grassland Federation = Land Use Systems in Grassland Dominated Regions = (Luzern, Switzerland) 21-24, June 2004, Book of Abstracts p186.

Events

夏のゼミ旅行

5月号で連絡させていただきました「夏のゼミ旅行」の詳細がかなり煮詰まりました。参加予定者：総勢24名（食品・栄養化学15名、生物機能開発化学8名、生物機能物理化学1名）です。某工作員から、藪下善行君（02年度修）が飛び入り参加していただけるとの情報をキャッチ。時間の都合のつく08・09の方は是非遊びに来てください。

日程：8月8日（日）～11日（水）
（生物機能開発化学は9日～11日）

場所：和歌山県白崎海洋公園
<http://www.naxnet.or.jp/~shira/>

毎年恒例のバーベキュー、花火、海水浴に加えて、釣り船が出ます。もし、魚釣りを希望される方がおられましたら、お早めにご連絡下さい（予約の都合がございます）。また、スキューバダイビングもできるようです（要Cカード）。

事前連絡先：shoku@kobe-u.ac.jp、takashi@kobe-u.ac.jp、電話：078-803-6553（担当ダス「日本語ペラペラでお待ちしています」）

当日連絡先：090-8389-9532（橋本）

編集後記

時間が過ぎるのは早いですね。あっという間に1ヶ月が過ぎ、気が付けば7月号発行日も過ぎていました。ということで、発行日が遅れてすみませんでした。榊原先生や後藤さん（先月号）の話を聞いていると、私もまた海外旅行に行きたくなってきました。とりあえずは国内ですが、ゼミ旅行を満喫したいと思っています。（橋本堂史：01年度博）。

今月の喜怒哀楽

今月は、野淵翠さん（B4）から、直接指導に当たっている先輩、山下貴稔君（D3）の横浜逃亡(?)について、意味深なコメントをいただきました。

師匠がいなくなりまして…ある意味のびのびと、またある意味で緊張感のある実験をさせてもらってます。そろそろ新しい師匠を探そうかと、迷い中です。。。いや、やめときまず('w')。